

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H24年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
02	<p>・長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 医師の業務の緩和を図るために、計画的な医師事務作業補助者の採用に努める。</p> <p>看護師については7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努める。</p> <p>平成23年12月に看護職員を対象として実施した院内保育所に関する調査結果を踏まえ、<u>夜間保育の実施について検討する。</u></p>	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・医師事務作業補助者を16名から24名に増員し、医師の過密業務の軽減を図った。</p> <p>・放射線業務について、高精度放射線治療機器の運用のため、平成24年4月1日に職員6名を採用し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入した。</p> <p>・看護師の人員数確保について、潜在看護師の発掘を目的として、職場復帰支援プログラムを実施し、採用の際に個別のライフスタイルに柔軟に対応した勤務形態を提案し、非常勤看護師の積極的な採用に努めた。</p> <p>・職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育のための施設整備、安心して保育所を利用できるよう、保護者参加の行事の実施(クリスマス会)、保護者の意見を反映しやすい組織づくりのため、運営体制・規程の改定を行った。</p> <p>【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	入所者数	37人	44人	37人	保育士数	10人	9人	8人	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>年度計画では、夜間保育の実施を検討するとの記載であるが、平成24年度中に夜間保育を整備しており、計画以上に実施されているものと評価する。</p> <p>IIIのまま</p> <p>夜間保育のための施設整備をしたことは評価できるが、平成24年度中の運用には至っていないことから、年度計画どおりとする。</p>	<p>「III」</p> <p>夜間保育のための施設整備をしたことは評価できるが、平成24年度中の運用には至っていないことから、年度計画どおりとする。</p> <p>放射線技師の2交代制は評価できる。今後、その効果を検証していただきたい。</p>
区分\年度	H22	H23	H24														
入所者数	37人	44人	37人														
保育士数	10人	9人	8人														

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
05	<p>・ コメディカルに対する専門研修の実施 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。</p> <p>【薬剤師】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種認定薬剤師 ・専門薬剤師 ・指導薬剤師 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種学会、研修会等への参加 <p>【中央放射線部】</p> <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線診療従事者の新人研修 ・放射性医薬品取り扱いガイドライン講習 ・PET研修セミナー ・放射線治療品質管理士講習 ・放射線取扱主任者定期講習 ・マンモグラフィ認定技師養成講習 ・放射線管理士、機器管理士、医用画像検査管理士、臨床実習指導者講習 ・日本医療情報学会 <p>【臨床検査科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・認定臨床微生物検査技師 ・認定血液検査技師 ・各種二級臨床検査士 <p>【リハビリテーション科】</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>・最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【薬 剤 部】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療薬学会指導薬剤師</td> <td>更新資格取得1名</td> </tr> <tr> <td>がん薬物療法認定薬剤師</td> <td>更新資格取得2名</td> </tr> <tr> <td>漢方薬・生薬認定薬剤師</td> <td>更新資格取得1名</td> </tr> <tr> <td>緩和薬物療法認定薬剤師</td> <td>受験資格取得1名</td> </tr> <tr> <td>小児薬物療法認定薬剤師</td> <td>受験資格取得1名</td> </tr> <tr> <td>日本補完薬師会生涯研修認定</td> <td>各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中央放射線部】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>救急課専門技師</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>医用画像検査管理士</td> <td>資格更新 1名</td> </tr> <tr> <td>医療研修施設主任主催新人研修</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>第3回放射線生医薬品取扱研修</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>日本医学PET研修セミナー</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>放射線治療品質管理士研修</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>放射線取扱主任者定期講習</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>医療情報学会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>災害被災病児指定講習会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>第28回乳腺甲状腺超音波診断会議</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>実習施設指導者養成講習会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>新人を対象とした院内OJT研修</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援</td> </tr> </tbody> </table> <p>【臨床検査科】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>細胞検査士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>学会参加</td> <td>6学会 20人</td> </tr> </tbody> </table>	【薬 剤 部】		医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名	がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名	漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名	緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名	日本補完薬師会生涯研修認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得	救急課専門技師	資格取得 1名	医用画像検査管理士	資格更新 1名	医療研修施設主任主催新人研修	1名参加	第3回放射線生医薬品取扱研修	1名参加	日本医学PET研修セミナー	1名参加	放射線治療品質管理士研修	1名参加	放射線取扱主任者定期講習	1名参加	医療情報学会	1名参加	災害被災病児指定講習会	1名参加	第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加	実習施設指導者養成講習会	1名参加	新人を対象とした院内OJT研修	2名参加	その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援	細胞検査士	資格取得 1名	学会参加	6学会 20人	III	<p>【評価の検討】</p> <p>III→IV</p> <p>コメディカルの専門研修の参加人数が経年増加しており評価できる。</p> <p>【IIIのまま】</p> <p>コメディカルの専門研修の支援によって、参加人数が経年増加しており評価できるものの年度計画どおり実施しているものである。</p>	<p>【III】</p> <p>コメディカルの専門研修の支援によって、参加人数が経年増加しており評価できるものの年度計画どおりとする。</p>
【薬 剤 部】																																																	
医療薬学会指導薬剤師	更新資格取得1名																																																
がん薬物療法認定薬剤師	更新資格取得2名																																																
漢方薬・生薬認定薬剤師	更新資格取得1名																																																
緩和薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																
小児薬物療法認定薬剤師	受験資格取得1名																																																
日本補完薬師会生涯研修認定	各種学会、研修会の参加を支援し、15名が認定申請に必要な単位を取得																																																
救急課専門技師	資格取得 1名																																																
医用画像検査管理士	資格更新 1名																																																
医療研修施設主任主催新人研修	1名参加																																																
第3回放射線生医薬品取扱研修	1名参加																																																
日本医学PET研修セミナー	1名参加																																																
放射線治療品質管理士研修	1名参加																																																
放射線取扱主任者定期講習	1名参加																																																
医療情報学会	1名参加																																																
災害被災病児指定講習会	1名参加																																																
第28回乳腺甲状腺超音波診断会議	1名参加																																																
実習施設指導者養成講習会	1名参加																																																
新人を対象とした院内OJT研修	2名参加																																																
その他	各種モダリティ別研究会、学会等への参加を支援																																																
細胞検査士	資格取得 1名																																																
学会参加	6学会 20人																																																

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	論 点	検 証 (案)																							
	<ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会及び認定試験受験 〈講習・研修等〉 ・がんのリハビリテーション研修 ・感覚統合療法入門講習 ・高次脳機能障害者支援事業ともなう、必要な知識・診療に関する研修会 ・内部障害関連（呼吸、循環器、代謝）研修会 	<table border="1"> <tr> <td>研修会参加</td> <td>7研修会 9人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。</td> </tr> </table>	研修会参加	7研修会 9人	その他	平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。																							
研修会参加	7研修会 9人																												
その他	平成24年度日本臨床検査技師会中部圏支部医学検査学会(第51回)学会事務局設置(学会長、事務局長、副事務局長、実行委員2名、学会スタッフ22名 計27名)学会開催に協力。																												
	<p>【栄養管理部】</p> <p>〈支援認定資格〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療養士 	<p>【臨床工学部】</p> <table border="1"> <tr> <td>透析安全管理責任者</td> <td>資格取得 2名</td> </tr> </table> <p>【リハビリテーション科】</p> <table border="1"> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士</td> <td>受験資格取得 PT2名</td> </tr> <tr> <td>3学会合同呼吸療法認定士</td> <td>認定講習会の受講資格取得 PT1名</td> </tr> <tr> <td>がんのリハビリテーション研修ワークショップ</td> <td>OT1名、PT3名参加</td> </tr> <tr> <td>感覚統合療法入門講習</td> <td>OT1名参加</td> </tr> <tr> <td>岐阜県高次脳機能障害者協力医療機関ネットワーク会議、研修会</td> <td>OT1名、ST1名参加</td> </tr> <tr> <td>日本心血管インターベーション治療学会 第28回東海北陸地方会</td> <td>PT3名参加 (うち1名発表)</td> </tr> <tr> <td>第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会</td> <td>PT1名参加</td> </tr> <tr> <td>日本難病研究会、研修会</td> <td>PT1名参加 (計3回)</td> </tr> <tr> <td>東海心リハ研究会</td> <td>PT1名参加</td> </tr> </table> <p>【栄養管理部】</p> <table border="1"> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム (NST) 専門療養士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> </table>	透析安全管理責任者	資格取得 2名	心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 PT2名	3学会合同呼吸療法認定士	認定講習会の受講資格取得 PT1名	がんのリハビリテーション研修ワークショップ	OT1名、PT3名参加	感覚統合療法入門講習	OT1名参加	岐阜県高次脳機能障害者協力医療機関ネットワーク会議、研修会	OT1名、ST1名参加	日本心血管インターベーション治療学会 第28回東海北陸地方会	PT3名参加 (うち1名発表)	第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	PT1名参加	日本難病研究会、研修会	PT1名参加 (計3回)	東海心リハ研究会	PT1名参加	糖尿病療養指導士	資格取得 1名	栄養サポートチーム (NST) 専門療養士	資格取得 1名			
透析安全管理責任者	資格取得 2名																												
心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 PT2名																												
3学会合同呼吸療法認定士	認定講習会の受講資格取得 PT1名																												
がんのリハビリテーション研修ワークショップ	OT1名、PT3名参加																												
感覚統合療法入門講習	OT1名参加																												
岐阜県高次脳機能障害者協力医療機関ネットワーク会議、研修会	OT1名、ST1名参加																												
日本心血管インターベーション治療学会 第28回東海北陸地方会	PT3名参加 (うち1名発表)																												
第22回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	PT1名参加																												
日本難病研究会、研修会	PT1名参加 (計3回)																												
東海心リハ研究会	PT1名参加																												
糖尿病療養指導士	資格取得 1名																												
栄養サポートチーム (NST) 専門療養士	資格取得 1名																												
		<p>【コメディカル専門研修の参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>16人</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>25人</td> <td>37人</td> <td>64人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	薬剤師	16人	25人	24人	検査技師	25人	37人	64人															
区分\年度	H22	H23	H24																										
薬剤師	16人	25人	24人																										
検査技師	25人	37人	64人																										

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)														
		放射線技師	22人	27人	30人																
		臨床工学技士	2人	8人	14人																
		リハビリ技師	36人	21人	30人																
		管理栄養士	10人	7人	5人																
		合計	111人	125人	167人																
07	<p>・医療安全対策の充実 医療の質および安全の確保のため、インシデント及びアクシデント案件があった場合は、各部署にてRCA（根本原因分析）実施を徹底する。</p> <p>毎月医療安全部会、医療安全管理委員会を開催し、インシデント、アクシデントレポートの集積を行う。その分析・検討結果を活用して医療安全部、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知し、組織横断的に医療安全について積極的に働きかける。</p> <p>専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。</p>	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>・インシデントレポートについては、職員の理解が深まり、平成23年度に月平均220件であった報告件数が、平成24年度には月平均265件まで増加した。またインシデントの内容によってRCAを実施した。</p> <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,991件</td> <td>2,642件</td> <td>3,169件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,010件</td> <td>2,663件</td> <td>3,186件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療安全部会、医療安全管理委員会を定期的に開催した。医療安全管理委員会では、医療安全対策に重要なインシデント事例を3～6事例/月を検討し、管理会議や医局会を通じて全職員に注意喚起を行った</p> <p>・医療安全管理者、リスクマネージャーは臨機応変に活動を展開した。</p> <p>・4月から患者サポート体制カンファレンスを毎週火曜日に開催し、対応方法や事後のケアについて検討を行った。</p> <p>・11/25から12/1の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、薬剤確認方法の啓蒙週間」として全職員に対し啓蒙活動を行った。患者誤認防止対策として入院中の患者225人、病院職員568人にアンケート調査を実施した。</p>	区分\年度	H22	H23	H24	インシデント	1,991件	2,642件	3,169件	アクシデント	19件	21件	17件	合計	2,010件	2,663件	3,186件	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>インシデントレポートが平成23年度2,642件(220件/月)に比べ、平成24年度は3,169件(265/月)と大幅な件数増加があり、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと考えられ計画以上に実施されているものと評価する。</p> <p>IIIのまま</p> <p>インシデントの件数を増やすことは、年度計画に記載された事項ではないため、年度計画を上回るものとはいえない。</p>	<p>「IV」</p> <p>インシデントレポートの増加は年度計画に記載された事項ではないが、平成23年度と比べ大幅な件数増加となっており、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと考えられ評価できる。</p>
区分\年度	H22	H23	H24																		
インシデント	1,991件	2,642件	3,169件																		
アクシデント	19件	21件	17件																		
合計	2,010件	2,663件	3,186件																		

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証										
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)									
	<p>院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しては別途ビデオ上映を行うなどフォローアップを充実する。</p>	<p>・薬剤確認方法に関しては、注射、内服に関する安全対策マニュアル改訂に合わせて改訂マニュアルの普及活動を行った。</p> <p>・院内研修会については、全職員参加を目標に実施した。出席者は延べ794名で、欠席者には研修内容を録画したDVDビデオを視聴させた。</p> <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月13日</td> <td>全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～</td> <td>419人</td> </tr> <tr> <td>2月14日</td> <td>がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～</td> <td>375人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人	2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～	375人			
開催日	テーマ	参加人数												
9月13日	全職員で取り組む医療安全 ～連携不足が招く医療事故の実際～	419人												
2月14日	がん治療における医療安全の問題点 ～それぞれの立場で、がん治療に関わる 中での問題点～	375人												
09	<p>・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 待ち時間調査を実施し、現状を把握する。 待ち時間の苦痛緩和に向けて対応策を引き続き 検討する。</p> <p>正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、会計待ち時間の改善を図る。</p> <p>医療連携を充実させることにより、逆紹介を円滑に進め、外来患者数の縮減に努める。取り組みの結</p>	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・7月に放射線、内視鏡、生理検査、10～12月に診療科待ち時間調査を実施し、検証した。</p> <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24分</td> <td>23分</td> <td>23分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時間からの遅延時間平均</p> <p>・正面玄関ロビーの改修にあわせ、窓口等を見直し、フレキシブルな対応が可能な体制を作った。</p> <p>・自動支払機の更新及び増設、会計表示の見直しにより、支払いに要する待ち時間を短縮し、患者のストレスを緩和することができた。</p> <p>・点在する外来駐車場を効率的に運用するため、駐車場利用者が集中する午前中には、駐車場管理の警備員を2名増員し、駐車場入庫待ちによる混雑解消を図った。</p> <p>・逆紹介を推し進めるため、各診療科の掲示板において、病診連携推進の「お知らせ」を掲示して、紹</p>	項目\年度	H22	H23	H24	平均待ち時間	24分	23分	23分	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV 放射線部において2交代制を導入し、待ち時間の改善が図られており評価できる。</p> <p>IIIのまま 年度計画どおり放射線部門において2交代制を導入し待ち時間の改善を図ったものである。</p>	<p>III 年度計画どおり、放射線部門において2交代制を導入し待ち時間の改善を図ったものである。</p>	
項目\年度	H22	H23	H24											
平均待ち時間	24分	23分	23分											

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	<p>果、各診療科において、診察予約時間から30分以内の診療を目指す。</p> <p>開業医の訪問活動を継続して実施し、紹介率の向上に努めるとともに、CT、MRIなどの検査依頼についても、検査枠の見直し等効率化を検討する。</p> <p>検査部門において、2交替制勤務を活用し検査の開始時間を早めることにより、混雑する時間帯への集中を緩和する。</p>	<p>介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて患者への周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業医への訪問活動を通して得た情報に基づき、診療情報提供書の早期作成に努めた。 医療連携枠として新たに「骨密度検査枠」を追加した。 <p>【CT、MRI検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>24,319件</td> <td>25,234件</td> <td>26,350件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>7,640件</td> <td>7,919件</td> <td>8,646件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度より中央放射線部において2交代制を導入した。あわせて早出、遅出という勤務体制を導入し、混雑する時間帯への集中を緩和した。 	区分\年度	H22	H23	H24	CT件数	24,319件	25,234件	26,350件	MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件			
区分\年度	H22	H23	H24														
CT件数	24,319件	25,234件	26,350件														
MRI件数	7,640件	7,919件	8,646件														
11	<ul style="list-style-type: none"> 医療情報に関する相談体制の整備 <u>医療連携室と医療相談室について、執務室を統合し、連携の強化を図る。</u> <p>緩和ケアや精神科病棟への対応のためスタッフの充実を図り、転院調整や各種相談業務への対応を強化する。</p>	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携室と医療相談室の執務室を統合したことで、情報の共有化が図れ、パス運用の初期での対応、転院・退院調整の役割分担とを連携センター全体として担うことが可能となり、フレキシブルな対応ができた。 平成24年4月から、緩和ケア認定看護師を地域医療連携センター師長として配置し、相談者に専門的なアドバイス、適切なケアを提供した。 緩和ケア外来から病棟入院に関し、相談員1名を専従とし、がん患者及び家族への相談支援を行った。 相談員1名がPSW（精神保健福祉士）の資格を取得し、精神疾患に関する地域と当院間の連携業務を担い、受診や入院の相談支援を行った。 平成24年4月から、相談員としてMSW（社会福祉士）を1名増員し、医療相談業務の拡充を図った。 	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>医療連携室と医療相談室の統合、がん患者に対して専従の相談員の配置、PSWの取得、MSWの増員の取組が、相談件数の飛躍的な増加につながっており評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、組織の統合やスタッフの充実を図っているものと判断する。</p>	<p>「III」</p> <p>医療情報に関する相談体制への充実に向けての努力は認められるものの、年度計画どおり、組織の統合やスタッフの充実を図ったものである。</p>												

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
	<p>がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。</p>	<p>・がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行った。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>8,567件</td> <td>7,921件</td> <td>10,199件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>一件</td> <td>131件</td> <td>168件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件	がんサロン相談件数	一件	131件	168件			
項目\年度	H22	H23	H24														
医療相談件数	8,567件	7,921件	10,199件														
がんサロン相談件数	一件	131件	168件														
12	<p>・患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、<u>医療者としての倫理観の確立に努める。</u></p> <p><u>職員に対し患者中心の医療、患者の自己決定権について研修を実施する。</u></p>	<p>（４）患者中心の医療の提供</p> <p>・当院の基本理念である「安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます」をコンセプトにしたシンボルマークを制定し、病院利用者及び職員に患者中心の医療の実践をアピールした。</p> <p>・平成23年度から医療安全研修会（講演会）の内容を録画し、研修に参加できなかった職員を対象に、後日、視聴させる仕組みを整えた。平成24年度も引き続き実施し、全職員が研修を受講できるように取り組んだ。</p> <p>・患者相談窓口を充実させ、毎週火曜日に患者からの要望や相談内容について検討することを目的とした患者サポート体制カンファレンスを開催している。平成24年度は52回開催し、45件について検討を行った。検討内容については、管理会議や医局会で報告して周知を図っている。</p> <p>・患者や家族に治療に対する理解を深めてもらうことを目的にNPO法人「医療の質に関する研究会」の患者図書室プロジェクトに応募し、必要な備品や図書の寄付を受けた。平成25年4月の開設に向け準備を整えた。</p> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>25件</td> <td>34件</td> <td>61件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	請求件数	25件	34件	62件	開示件数	25件	34件	61件	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>患者サポート体制の充実、患者図書館の開設に向けた取り組みは、患者サービスの向上が図られ評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>年度計画どおり、患者中心の医療の提供を実施しているものと判断する。</p>	<p>「III」</p> <p>毎週、患者サポート体制カンファレンスを行っている努力は認められるものの、年度計画どおり、患者中心の医療の提供を図ったものがある。</p>
区分\年度	H22	H23	H24														
請求件数	25件	34件	62件														
開示件数	25件	34件	61件														

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
17	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 外来待ち合いスペースに設置する「医療連携登録医情報コーナー（仮称）」を活用し、外来患者を中心に登録医の情報を発信したり、登録医等への訪問活動を実施する。</p> <p>当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、<u>紹介率60%、逆紹介率75%以上の恒常的な確保を目指す。</u></p> <p>高度医療機器、開放病床の利用について引き続き利用拡大を促進する。</p>	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>・登録医を対象とした訪問活動や、医療連携登録医情報コーナーとホームページによる情報発信を行い、医療機関や住民に対し、当院が急性期病院であること、かかりつけ医との連携により地域医療の向上を目指すことをPRした。</p> <p>・平成24年度の紹介率については、対前年比で0.1%減と大きな変化はないが、紹介患者の実件数では838件の増加となっている。また、逆紹介率については、1.0%減、181件の増加となっている。</p> <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>60.2%</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>17,031件</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>79.2%</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>20,241件</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成24年度の高度医療機器予約数については、CT、MRIは12.6%の減少、RI・PETについては22.9%の減少となっている。高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しやすい環境づくりを行う。</p> <p>【高度機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>580件</td> <td>610件</td> <td>534件</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>547件</td> <td>548件</td> <td>478件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した。</p>	区分\年度	H22	H23	H24	紹介率	60.2%	62.7%	62.6%	紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件	逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%	逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件	区分\年度	H22	H23	H24	CT	580件	610件	534件	MRI	547件	548件	478件	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>Ⅲ→Ⅳ</p> <p>計画を大きく上回る実績は挙げられていないが、紹介率・逆紹介率の目標値を高いものに設定しており、目標値を達成したことは非常に評価できる。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上に関する年度計画はすべて達成されているが、計画を大きく上回るものとはいえない。</p>	<p>「Ⅳ」</p> <p>紹介率・逆紹介率の目標値を高いものに設定しており、目標値を達成したことは非常に評価できる。</p>
区分\年度	H22	H23	H24																																		
紹介率	60.2%	62.7%	62.6%																																		
紹介実件数	17,031件	17,215件	18,053件																																		
逆紹介率	79.2%	83.8%	82.8%																																		
逆紹介実件数	20,241件	20,842件	21,023件																																		
区分\年度	H22	H23	H24																																		
CT	580件	610件	534件																																		
MRI	547件	548件	478件																																		

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証														
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		【開放型病床利用の年度比較】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>			区分\年度	H22	H23	H24	医科	0件	4件	0件	歯科	8件	10件	9件			
区分\年度	H22	H23	H24																
医科	0件	4件	0件																
歯科	8件	10件	9件																
19	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 退院調整看護師と、医療相談員との連携を強化し、退院支援の充実を図る。</p> <p>退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。</p>	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <p>・医療相談室でのカンファレンスを週に1度行うよう定例化した。退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。</p> <p>・退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。</p> <p>【合同カンファレンスの実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>173件</td> <td>231件</td> <td>351件</td> </tr> </tbody> </table>			H22	H23	H24	173件	231件	351件	IV		<p>地域の介護・福祉機関との連携を強化するため、退院前の医師・看護師・地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを週1回開催して、在宅療養に向けての支援を行った取り組みは評価できる。</p>						
H22	H23	H24																	
173件	231件	351件																	
23	<p>・がん診療拠点 高精度放射線治療センターの運用を本年秋に開始することにより、これまで以上に短時間で負担が少ない治療が可能となる。稼働に向けて、技師の研修や地域医療従事者へのPR活動などを行う。</p> <p>がん地域連携クリニカルパスの運用拡大を図る。</p> <p>がん治療についての院内外の研修会・講演会を積極的に開催する。</p>	<p>(4) がん診療拠点</p> <p>・高精度放射線治療システム（ノバリスTx）を導入し、平成24年12月から高精度放射線治療センター運用を開始することができた。また、平成25年度中の本格運用へ向けて照射量や減衰などのデータ収集を行うとともに担当する医療スタッフのスキルアップ支援や、地域医療従事者等へのPR活動を行った。</p> <p>・がん地域連携クリニカルパスについては、当院独自に運用を開始していたが、県や都道府県がん診療連携拠点病院（岐阜大学医学部附属病院）、他の地域がん診療連携拠点病院とともにより広域的な運用が可能で、県内統一のパスを導入し、運用を開始した。</p> <p>・市民公開講座など院内外の講演会や研修会において高精度放射線治療や化学療法など、</p>			IV		<p>地域がん診療拠点病院として、より質の高い医療を提供するため、高精度放射線治療システムを導入し高精度放射線治療センターの運用を開始したことは評価できる。</p> <p>また、がん地域連携クリニカルパスの広域的な運用を開始したことについても評価できる。</p>												

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		<p>がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。</p> <p>【がん患者（入院）等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>1,338人</td> <td>1,274人</td> <td>1,620人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,052件</td> <td>1,025件</td> <td>1,064件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>884件</td> <td>779件</td> <td>979件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>3,804件</td> <td>3,177件</td> <td>3,535件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H22	H23	H24	患者数	1,338人	1,274人	1,620人	手術件数	1,052件	1,025件	1,064件	化学療法件数	884件	779件	979件	放射線施行回数	3,804件	3,177件	3,535件			
項目\年度	H22	H23	H24																						
患者数	1,338人	1,274人	1,620人																						
手術件数	1,052件	1,025件	1,064件																						
化学療法件数	884件	779件	979件																						
放射線施行回数	3,804件	3,177件	3,535件																						
24	<p>・精神科医療・感染症医療 感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。</p> <p>精神科病棟を開設し、身体合併症を併発した精神科患者の治療を積極的に行う。</p>	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <p>・結核、感染症病棟については、呼吸器内科医師5名を確保することで、受け入れ体制を維持した。</p> <p>・必要な医師5名を確保し、平成24年5月から精神科病床を再開することができた。</p> <p>【患者の受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>1,243人</td> <td>2,358人</td> <td>1,933人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>一人</td> <td>一人</td> <td>5,400人</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H22	H23	H24	結核、感染症	1,243人	2,358人	1,933人	精神科	一人	一人	5,400人	IV		<p>精神科医師を確保し精神科病床を再開したことは評価できる。</p> <p>地域医療に貢献していただきたい。</p>								
病床\年度	H22	H23	H24																						
結核、感染症	1,243人	2,358人	1,933人																						
精神科	一人	一人	5,400人																						
26	<p>・治験コーディネーターを中心として、院内の体制を整備し、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。</p> <p>平成23年度実績 1件 平成24年度目標 2～3件</p>	<p>(1) 治験管理部門が中心となり、治験募集と担当診療科調整の支援を行うため、医薬品開発業務受託機関から照会のあった案件について、該当医師に情報提供を行った。(平成24年度実績：9件)</p> <p>【治験件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>12件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・提供する医療の質及び地域の医療水準の向上等を図るため、調査研究事業に積極的に取り組んだ。年間の治験・倫理委員会申請件数は27件(迅速審査を含む)で前年度の14件に比較し92.9%の伸びとなっている。</p>	区分\年度	H22	H23	H24	治験実施件数	1件	1件	1件	治験症例件数	12件	0件	0件	受託研究件数	1件	1件	1件	III	<p>評価の検討</p> <p>III→II</p> <p>治験件数の増加に至らなかったことから、年度計画どおり実施されなかったとする。</p> <p>IIIのまま</p> <p>治験・倫理委員会申請件数は大幅に伸びていることから年度計画どおり実施しているものとする。</p>	<p>「III」</p> <p>治験・倫理委員会申請件数は大幅に伸びていることから年度計画どおりと実施している。</p>				
区分\年度	H22	H23	H24																						
治験実施件数	1件	1件	1件																						
治験症例件数	12件	0件	0件																						
受託研究件数	1件	1件	1件																						

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
27	<p>・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 DPCデータを基に、他の病院とのベンチマーク比較分析などを進め、診療上の問題点を把握し、より効率的な診療業務の実施を図る。</p> <p>人件費などの一般管理経費も含めたコストパフォーマンスについて分析を行い、より効率的な経営の確保を図る。</p> <p>DPCデータを活用した臨床指標の項目検討を進め、指標項目の追加、公表を図る。</p> <p>診療情報管理士の資格取得を進め、診療情報の管理・活用の充実を図る。</p> <p>大規模災害時において過去の診療録データを失わないようなシステム構築を検討する。</p> <p>医療連携関連データ（紹介・逆紹介状況、高度医療機器・開放型病床利用状況等）を医療連携推進協議会等を通じ、医師会をはじめとする医療関係機関、行政機関と情報を共有し、医療機関ごとの役割</p>	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のDPC分析のための「DPC委員会」、査定返戻や算定についての検討を行う「保険委員会」を統合し、報酬算定、DPC分析を統括して行うため、新たに「診療報酬委員会」を設置し、検討を行った。 ・DPCデータ及び公表された機能評価係数について、他院との比較分析を行い、当院の課題についての検討を行った。分析検討結果は、診療報酬委員会、管理会議等へ報告し、院内周知、情報共有を図った。 ・また、診療報酬改定による影響が予想された抗がん剤治療について、呼吸器疾患に関する検討会を実施した。 <p>【検討会の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均在院日数と診療単価、効率性係数 ・近隣病院との手術指数、診療密度比較など <p>・DPCデータの分析、比較検討を重ねた結果、機能評価係数Ⅱを上昇させることができた。</p> <p>・分析システムへの一般管理費等の登録の結果、費用配分方法などの課題が半明した。次年度以降、これらの課題について検討を行う。</p> <p>・厚生労働省のDPC評価分科会から内容案が示され、参考データの作成を行った。今後、公表様式等の正式通知を待って公表を行う。</p> <p>・試験合格、採用により新たに院内で3名の診療情報管理士を確保した。また、資格取得のために必要な研修受講について、すでに受講中の3名とあわせて新たに4名の支援を行った。</p> <p>・診療録データを院外でバックアップするシステムについて検討を行った。</p> <p>・医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、4半期に1度のペースで地域医療連携推進協議会を開催し、紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、急</p>	IV	<p>評価の検討</p> <p>IV→Ⅲ</p> <p>DPCデータを分析し検討した結果、機能評価係数Ⅱを上昇させたことは評価できるが、年度計画を上回るものとはいえない。</p> <p>IVのまま</p> <p>DPCデータを分析した結果、患者数の増加や入院単価・病床利用率・手術件数の増、平均在院日数の短縮などにより機能評価係数Ⅱを上昇させたことは評価できる。</p>	<p>「IV」</p> <p>機能評価係数Ⅱを上昇させたことは評価できる。</p>

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																	
	の明確化や地域連携パスの活用等により、医療連携の推進を図る。	性期病院と開業医、他の医療機関との地域における役割、医療資源の有効活用について検討を重ねた。																																				
29	<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座を開催し、医療に対する知識や関心を高める。</p> <p>市民から要望のある「出前講座」の開催を検討する。</p> <p>東濃支部ソーシャルワーカー研修会（情報交換会）を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。</p>	<p>(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>・一般市民向けの公開講座を開催した。</p> <p>○市民公開講座 9/22 「わかる！放射線治療と肺がん治療」 参加者数：237名</p> <p>○緩和ケア市民公開講座 7/21 「輝いていけるために～死とどう向き合うか」アルフォンス・デーケン氏（上智大学名誉教授） 参加者数：358名</p> <p>・循環器疾患をテーマとした「出前講座」を地域の会合とタイアップして開催した。</p> <table border="0"> <tr><td>6/7</td><td>多治見市池田町</td><td>聴講者</td><td>23名</td></tr> <tr><td>7/22</td><td>〃 笠原町</td><td>〃</td><td>43名</td></tr> <tr><td>8/6</td><td>〃 滝呂町</td><td>〃</td><td>24名</td></tr> <tr><td>8/25</td><td>〃 西坂町</td><td>〃</td><td>34名</td></tr> <tr><td>9/24</td><td>〃 根本町</td><td>〃</td><td>21名</td></tr> <tr><td>10/27</td><td>〃 大畑町</td><td>〃</td><td>38名</td></tr> <tr><td>11/11</td><td>〃 明和町</td><td>〃</td><td>50名</td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td>総計</td><td>233名</td></tr> </table> <p>・10月28日に開催した病院秋祭りにおいて無料健康相談を行った。</p> <p>・岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部ソーシャルワーカー研修会（情報交換会に参加した。（偶数月に開催）10月には当院を会場に実施をした。 4/28 タジミ第1病院、6/16 中津川市民病院、 8/18 市立恵那病院、10/27 当院、 12/15 東濃厚生病院、2/16 高井病院</p>	6/7	多治見市池田町	聴講者	23名	7/22	〃 笠原町	〃	43名	8/6	〃 滝呂町	〃	24名	8/25	〃 西坂町	〃	34名	9/24	〃 根本町	〃	21名	10/27	〃 大畑町	〃	38名	11/11	〃 明和町	〃	50名				総計	233名	III		市民からの要望により、出前講座を開催したことは評価できる。継続して実施されたい。
6/7	多治見市池田町	聴講者	23名																																			
7/22	〃 笠原町	〃	43名																																			
8/6	〃 滝呂町	〃	24名																																			
8/25	〃 西坂町	〃	34名																																			
9/24	〃 根本町	〃	21名																																			
10/27	〃 大畑町	〃	38名																																			
11/11	〃 明和町	〃	50名																																			
			総計	233名																																		

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)							
	岐阜県難病団体連絡協議会の主催する難病医療福祉相談会などに、福祉相談員として参加する。	・岐阜県難病団体連絡協議会が6月1日に開催され、社会福祉士1名が出席し意見交換を行った。										
39	・大規模災害発生時の災害派遣医療チーム (DMAT) の派遣 <u>厚生労働省医政局の要請により災害派遣医療チーム (DMAT) を常時派遣できる体制をとる。</u>	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム (DMAT) の派遣 ・医療救護活動の拠点機能を充実させるため、災害派遣医療チーム (DMAT) を2チームに増員し、必要な設備、備品を整備し、大規模災害時にも迅速に対応できる体制を整えた。	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>災害時医療チーム (DMAT) を2チームに増員し医療救護体制の強化を図ったことは、計画以上に実施されているものと評価する。</p> <p>IIIのまま</p> <p>災害時医療チーム (DMAT) を2チームに増員し医療救護体制の強化を図ったとしても、年度計画を上回るものとはいえない。</p>	<p>「III」</p> <p>災害時医療チーム (DMAT) を2チームに増員し医療救護体制の強化を図ったとしても、年度計画を上回るものとはいえない。</p>							
45	・時差出勤制度の導入 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・女性医師2名に短時間勤務制度 (週20時間、30時間) を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	III		女性医師の活用は今後の重要な課題なので、積極的に進めて頂きたい。							
47	・効果的な体制による医療の提供 <u>医師事務作業補助者の業務の質の向上を図るとともに、「30:1」補助体制加算の早期導入を進める。</u>	(2) 効果的な体制による医療の提供 ・医師事務作業補助者を増員し、8診療科の運用を15診療科に拡大するとともに「30:1」補助体制加算を導入した。外来の全診療科へ配置し、文書作成オーダー入力業務などを補佐し、医師の業務負担軽減を図った。 また、病棟事務補助者を9名から11名に増員し、看護師の業務負担軽減を図った。 【医師事務作業補助者配置部署】	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>年度計画では、「30:1」の補助体制加算の早期導入を進めるとの記載があるが、平成24年度中に導入しており、計画以上に実施されているものと評価する。</p> <p>IIIのまま</p> <p>「30:1」の補助体制加算を導入したからと</p>	<p>「IV」</p> <p>医師事務作業補助者を増員し8診療科を15診療科に拡大するとともに、平成24年度中に「30:1」の補助体制加算を導入したことは、計画以上に実施されているものと評価できる。</p>							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th colspan="2">H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・内科</td> <td>・内科</td> <td>・内科</td> <td>・耳鼻いんこう科</td> </tr> </tbody> </table>	H22	H23	H24		・内科	・内科	・内科	・耳鼻いんこう科		
H22	H23	H24										
・内科	・内科	・内科	・耳鼻いんこう科									

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	論 点	検 証 (案)															
		<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科 ・中央手術室 	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科 ・中央手術室 ・外科 ・脳神経外科 ・泌尿器科 ・産婦人科 ・歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科 ・中央手術室 ・外科 ・脳神経外科 ・泌尿器科 ・産婦人科 ・歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科 ・皮膚科 ・中央検査科 ・精神科 ・神経内科 ・眼科 		<p>いって、これを以って年度計画を上回るものとはいえない。</p>															
	<p>連携コーディネーターによる連携パスの普及や運用の推進を継続するとともに連携室と相談室との一体化を図り、連携センターの充実、安定した紹介患者受入れなど、連携強化を図る。</p>	<p>【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15人</td> <td>25人</td> <td>35人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・連携パスコーディネーターを中心に地域医療連携パスの普及や運用の促進を行った。特に、狭心症・心筋梗塞パスの運用件数増加や、新たにスタートした糖尿病パスの普及に努めた。また独自に運用していた5大がんパスの県内統一様式への移行に向け登録医への訪問活動に尽力した。 ・地域医療連携センターの執務室を統合したことにより、地域医療連携パス適用者に関する紹介、逆紹介の情報が担当間でフレキシブルに共有できるようになった。迅速な対応が可能となったとともに、各種統計データの作成、分析が円滑に行えるようになった。 ・入院案内センターへ派遣職員を配置し、円滑な入院案内とこれによる医療職の負担軽減、患者サービスの向上を図った。同様に診療録管理室への配置により、円滑な院内がん登録作業の遂行を図った。 			区分\年度	H22	H23	H24	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	7人	16人	24人	病棟事務補助者 (看護クラーク)	8人	9人	11人	合計	15人	25人	35人		
区分\年度	H22	H23	H24																			
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	7人	16人	24人																			
病棟事務補助者 (看護クラーク)	8人	9人	11人																			
合計	15人	25人	35人																			

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
50	<p>医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図る。</p> <p><u>診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、診療情報管理士の資格取得を支援する。</u></p> <p>経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進める。</p> <p>プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保に引き続き取り組む。</p>	<p>・医事課に診療報酬担当を新設し、診療報酬算定の適確化と効率化を図った。</p> <p>・試験合格及び採用により新たに院内で3名の診療情報管理士を確保した。また、診療情報管理士資格取得のための研修について、すでに受講中の職員4人に加え、新たに3名に受講の支援を行った。</p> <p>・経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進めた。</p> <p>【研修参加実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研 修 会 名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24.5.25</td> <td>経営戦略セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H24.9.12</td> <td>人事評価制度の構築セミナー</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25.2.15</td> <td>人事・労務セミナー</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・民間企業等での実務経験を持つ人材を対象に事務職員の採用試験を実施した。</p> <p>【事務職員の状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>8人</td> <td>20人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>23人</td> <td>15人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31人</td> <td>35人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研 修 会 名	参加者数	H24.5.25	経営戦略セミナー	1名	H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名	H25.2.15	人事・労務セミナー	1名	区分\年度	H22	H23	H24	プロパー職員	8人	20人	26人	県派遣職員	23人	15人	10人	合計	31人	35人	36人	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV 診療情報管理士や、多くのプロパー職員を採用していることは評価できる。</p> <p>IIIのまま 年度計画どおり、必要な人材を積極的に確保している。</p>	<p>「III」 必要な人材を積極的に確保しており評価できるが、年度計画どおりである。</p>
開催日	研 修 会 名	参加者数																															
H24.5.25	経営戦略セミナー	1名																															
H24.9.12	人事評価制度の構築セミナー	1名																															
H25.2.15	人事・労務セミナー	1名																															
区分\年度	H22	H23	H24																														
プロパー職員	8人	20人	26人																														
県派遣職員	23人	15人	10人																														
合計	31人	35人	36人																														
55	<p>・「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増、平均在院日数の短縮などによる医業収益の増とともに価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、経常収支比率は105.8%、職員給与費対医業収益比率は49.7%と計画を達成した。</p> <p>【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>103.3%</td> <td>102.0%</td> <td>105.8%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>49.5%</td> <td>51.5%</td> <td>49.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	経常収支	103.3%	102.0%	105.8%	職員給与費	49.5%	51.5%	49.7%	IV	<p>経営努力により、経常収支比率を上昇させたことは評価できる。</p> <p>また、職員給与費対医業収益比率についても計画を達成できたことは評価できる。</p>																	
区分\年度	H22	H23	H24																														
経常収支	103.3%	102.0%	105.8%																														
職員給与費	49.5%	51.5%	49.7%																														

項目 No.	H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
56	<p>・各診療科の医師に対して要望を確認のうえ、<u>医師事務作業補助者を配置し、医師の業務負担の軽減を図る。</u></p>	<p>(1) 各診療科の医師の要望に応じ、医師事務作業補助者を配置し、医師の負担軽減に努めた。平成24年7月より30：1の補助体制加算へ移行した。</p> <p>【医師事務作業補助者等の状況】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>105人</td> <td>99人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>392人</td> <td>422人</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療ｸｰﾙ)</td> <td>7人</td> <td>16人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護ｸｰﾙ)</td> <td>8人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H22	H23	H24	常勤医師数	105人	99人	105人	常勤歯科医師数	4人	4人	5人	常勤看護師数	392人	422人	433人	常勤准看護師数	4人	4人	4人	医師事務作業補助者 (医療ｸｰﾙ)	7人	16人	24人	病棟事務補助者 (看護ｸｰﾙ)	8人	9人	11人	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>Ⅲ→Ⅳ</p> <p>医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者を増員したことは評価できる。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>年度計画どおり、医師事務作業補助者を増員し医師の負担軽減を図っている。</p>	<p>「Ⅲ」</p> <p>年度計画どおり、医師事務作業補助者を増員し医師の負担軽減を図っている。</p>
区分\年度	H22	H23	H24																														
常勤医師数	105人	99人	105人																														
常勤歯科医師数	4人	4人	5人																														
常勤看護師数	392人	422人	433人																														
常勤准看護師数	4人	4人	4人																														
医師事務作業補助者 (医療ｸｰﾙ)	7人	16人	24人																														
病棟事務補助者 (看護ｸｰﾙ)	8人	9人	11人																														